



写真提供: グライフォン・ストリングド・インストゥルメンツ
(Gryphon Stringed Instruments)

The SCGC Tony Rice Model Guitar

SCGC トニー・ライス・モデル・ギター

1978年6月13日、トニーと私はサンタ・クルーズ (Santa Cruz) へ車で向かい、サンタ・クルーズ・ギター・カンパニー (Santa Cruz Guitar Company / SCGC) が製作した最初のトニー・ライス・モデル・ギターを受け取りました。SCGC は1976年、リチャード・フーヴァー (Richard Hoover)、ウィル・デイヴィス (Will Davis)、ブルース・ロス (Bruce Ross) によって設立されました。このドレッドノート・サイズの楽器は、1935年製クラレンス・ホワイト・マーティンの際立った特徴のひとつ・拡大されたサウンドホール (ギタートップに開けられた円形の開口部) を受け継いでいます。しかし、それ以外の点では、SCGC のトニー・ライス・モデルはクラレンス・ホワイト・マーティンのコピーではありませんこれはあくまでも独自のドレッドノートです。

この拡大された O ホールについては諸説ありますが、ハリー・スパークス (Harry Sparks) がメールで送ってくれた説明が最も信憑性が高いと思われます。

「トニーかクラレンス・ホワイトのどちらかが言っていたんですが、ピックガードのすぐ上にピック傷がひどくて、木材がパーリングの最初のラインまで削れてしまっていたんです。ホールをまた丸くするために、誰かが残りの木材を全周にわたって削り取ったということです。誰がやったのかは分かりません。」

もうひとつ、こんなことがありました。クラレンス・ホワイト・マーティンには、ボディ上部・19フレットの下あたり・にエアガンの弾痕があるのです。ローランド (Roland) によれば、クラレンスとレロイ・マクニーズ (LeRoy McNeese) ・通称「マック (Mack)」・ケンタッキー・コロネルズ (Kentucky Colonels) のドブプロ奏者・が、

カリフォルニア州ビッグ・ベア・レイク (Big Bear Lake) のキャンピング場で夜、ビールを飲みながらくつろいでいたそうです。

ギターは壁に立てかけてありました。クラレンスの手にはエアガンがありました。彼は「このギターが嫌いだ」と言い、狙いを定めて撃ちました

ローランドがマックの電話番号を教えてくださいました。私は電話をかけ、「なぜクラレンスはギターが嫌いだと言ったんですか?」と尋ねました。

彼は笑って言いました。「弾きにくかったのは確かですよ。たぶんそれが理由じゃないですかね。」

これもまた、このギターの高いアクションにまつわるエピソードのひとつです。ケニー・ミュージック・カンパニー (Kenney Music Company) が最初に指摘して以来、この問題はギターにつきまわってきました。いずれにせよ、クラレンス・ホワイト・マーティンにあった弾痕は、SCGC のトニー・ライス・モデルには再現されませんでした。



ケントフィールド (Kentfield) のティー [訳注：トニーの愛称] の自宅に戻ると、トニーは新しい楽器を弾き始めました。そして、すぐに何かがおかしいと感じ取りました。

「音が違う。感触も違う」と彼は言いました。「何かがずれてる。」

私には問題なく聞こえましたが、サム・ブッシュと同じように、トニーならどんなドレッドノートでも歌わせることができていると思っています。

彼は左手でローポジションのフレットをいくつか押さえ、こう言いました。「何かがおかしい。音が出てくるべき場所に出てこない。」

私には、トニーはちゃんとその音を出しているように聞こえましたが。

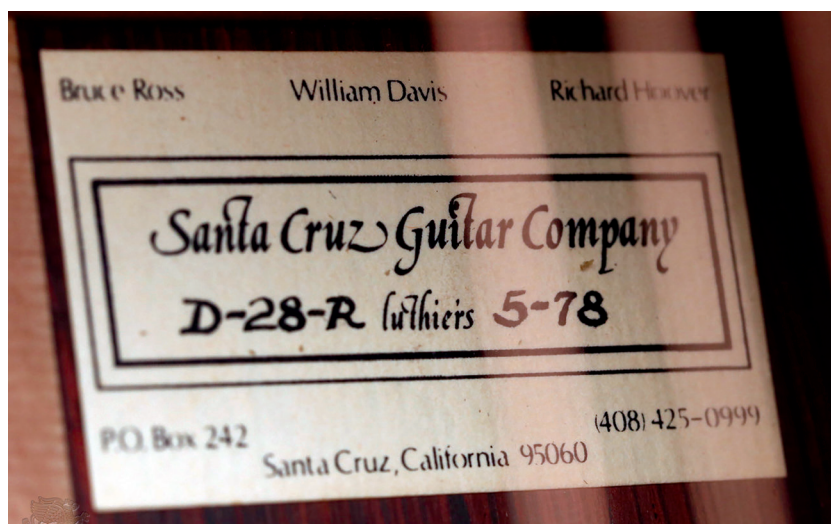
彼はクラレンス・ホワイト・マーティンのナットからブリッジまでの弦長を測り、次に SCGC のトニー・ライス・モデルで同じ箇所を測りました。

SCGC トニー・ライス・モデル・ギター

サンタ・クルーズのギターはマーティンよりも弦長が1/8 インチ長かったのです。トニーはその1/8 インチの差と、それによって生じる弦のテンションの違いを指先で感じ取り、音色の差を耳で聴き分けていました。

サンタ・クルーズ・ギター・カンパニーのスタッフはティーが求める変更を加え、その後も長年にわたってトニーの音色の好みや身体的なニーズの変化に合わせて楽器を進化させ続けました。1978年から2015年の間に、彼のために12本ものパーソナル・カスタム・ギターを製作しています。特にミッドレンジとトレブルは、ティーの好みに合わせて細かく調整されました。トニー・ライス・モデルは、SCGCのシグネチャー・モデルの中で最も売れているギターだと思えます。

毎年、SCGCのリチャード・フーヴァーは同社のギターを1本、カリフォルニア・ブルーグラス・アソシエーション (California Bluegrass Association / CBA) に寄贈しています。CBAはそのギターを会員向けに抽選販売し、この素晴らしい団体の活動資金に充てています。リチャード、ありがとうございます。



初代SCGCトニー・ライス・モデル・ギターの内部ラベル
写真提供: Gryphon Stringed Instruments